

| | | | | | |
|-------|--------|--------|-------|-------|----|
| グループ名 | ユニット名等 | 科目名 | 担当教員名 | 対象学年次 | 学期 |
| 必修 | 2単位 | 基礎演習 I | 小林 俊哉 | 1年次 | 春 |

| | |
|---------------|---|
| 授業のキーワード | 読解、理論的思考、論述、問題解決 |
| 授業の概要 | 大学での学習・研究生活を送るための基礎技能の修得を目指すのがこの「演習」の目的です。研究をするためだけにとどまらず、さまざまな場面に有用なスキルを、いかに研究や実社会での活動に結びつけるのかを会得してもらいます。また日本漢字能力検定(漢検)の合格を目指し、そのための学習も行います。単に漢字を「読む」「書く」という知識だけではなく、漢字の意味を理解し、文章の中で適切に使える能力を養います。 |
| 期待される学習成果(目標) | 1. 論理的な文章を読み、その内容や構成を理解できる。 2. あるテーマに関する論理的な構成を有する文章を書くことができる。 3. 与えられた課題の問題解決を試み、その解決法を説得的に述べることができる。 |

授業展開

| | テーマ | 内 容 | | テーマ | 内 容 |
|---------------------|---|---|---------|--------|---|
| 第1講 | 合同ゼミ | | 第9講 | 合同ゼミ | |
| 第2講 | 読む | 主に新聞記事を読み、「読む」ということはどういうことなのか、その基本を学びます。 | 第10講 | 話す・聞く | 第8講を引き続き口頭発表を継続します。 |
| 第3講 | 読む | 新聞の解説や社説を読み、それらの文章の論理構成を考察します。 | 第11講 | 問題解決 | 「問題解決」の基本を学びます。そもそも問題とは何か、それをどのように処理すれば解決可能になるのかなどを学習します。その上で自分の「問題」を探し解決を試みます。 |
| 第4講 | 読む | 第3講を引き続き「読む」ことの学びを深めます。評論を読み文章の要点を理解し、その理解をどのように自分のものにするのか、を学びます。 | 第12講 | 問題解決 | 前講を引き続き、自分の問題の解決を試みます。また他者の問題を聞き、その解決の可能性を探ります。 |
| 第5講 | 合同ゼミ | | 第13講 | 合同ゼミ | |
| 第6講 | 聞く | 小説の朗読を聴き、「聴いて理解をする」ということの訓練をします | 第14講 | まとめ(1) | これまで学んできた事項のレビューをしながら、必要に応じて進度調整を行います。 |
| 第7講 | 話す | 自分のこれまで歩んできた道を振り返り、そこから一つの「物語」を紡ぎ出します。その作業を行います。 | 第15講 | まとめ(2) | これまでの内容のレビューと期末課題の提出を行います。 |
| 第8講 | 話す・聞く | 前講で開始した作業の仕上げを確認し、口頭発表をします。また他者の発表を聞く訓練を行います。 | 定期試験 | | 自分史紹介資料、問題解決課題、そして期末課題の3点を提出することにより定期試験に代えます。 |
| 評価方法 | 中間課題各30%(計60%)、期末課題40%。なお卒業時まで「漢検」に合格することが「基礎演習 I」の成績評価の前提となります。評価方法の詳細は、初回の授業や「合同ゼミ」において説明します。ただし、すでに日本漢字能力検定3級以上を取得している人はこの限りではありません(要証明書)。 | | | | |
| 使用する教科書(必ず購入してください) | | | 参 考 文 献 | | |
| 学校指定の漢検テキスト | | | | | |